

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-		
		商店街（事務局長）	・株高や原油安、大企業の収益改善などの良い影響が地方や一般にも波及する兆しが見え始め、次第に消費マインドは高まっていくのではないかと感じる。ただ消費者は目的をもって商品やサービスを選ぶため、業種業態によって売上に開きが出るだろう。		
		百貨店（販売促進担当）	・株価上昇や地域振興策の取組みにより、景気回復を期待できる材料は整いつつある。		
		スーパー（店長）	・景気は徐々に良くなってきたと感じる。昨年の消費税増税の影響が薄れ、今後は良くなっていく。		
		衣料品専門店（経営者）	・2月は来店客数が少なかった。3月は季節要因で今より売上がやや増えるだろうが、それ以上は期待していない。		
		住関連専門店（経営者）	・消費税の増税後は、悪い状況が続いているが、金利が低い状況が続いているので新築住宅が増えていくのではないかと感じる。家具販売店としては期待がもてる。また、最近のガソリン安も売上増につながるとみる。		
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・暖かくなると飲料の動きが活発になる。花見のシーズンに期待している。		
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・消費税増税の反動減があった昨年よりは、少し良くなる。		
		観光型旅館（経営者）	・北陸新幹線の開業で、観光面では四国は少し厳しい状況にあるが、経済の先行きは期待できるのではないかと感じる。		
		タクシー運転手	・企業の年度末、決算、個人事業主等の確定申告が終了すると、人の動きが良くなる。		
		タクシー運転手	・異動の時期には乗客が増えるのではないかと感じる。お遍路関連の乗車は昨年より少ないだろうが、例年並みの客数は確保できるとみている。		
		通信会社（営業担当）	・新生活シーズンのため、少し良くなる。		
		通信会社（営業担当）	・春先の新生活需要がしばらく続く。		
		通信会社（支店長）	・株高・円安効果が出始めている。ガソリンの値下がりや、景況感は良くなるかと考えている人が多く、年度末に向けて購買意欲も上がるとみている。		
		通信会社（企画）	・年度末を迎え、契約数は伸びるとみている。		
		観光遊園地（職員）	・観光シーズンを迎えるため。		
		競艇場（職員）	・2月の状況から判断すれば、売上増が期待できる。5月には周年記念レースが開催され、人気選手の出場が見込まれ、前年以上の売上を期待している。		
		住宅販売会社（従業員）	・新規来場及び問い合わせが増えており、今後の契約数は増えるかとみている。		
		変わらない		商店街（代表者）	・地方創生に期待をする。
				商店街（代表者）	・地方の商店街は厳しい状況が続いており、通行量も極めて少ない。
一般小売店〔文具店〕（経営者）	・年度末で少しは動きがあるものの、基本的には変化はない。				
一般小売店〔生花〕（経営者）	・送別関連商品の注文は例年並みだが、4月から再び人通りが少なくなると不安になる。				
一般小売店〔酒〕（販売担当）	・良くなる要素が何も無い。				
百貨店（営業推進）	・販売量の動きからは、景気が回復しているとは思えない。また、地方は都市部のような恩恵を被っていない。				
スーパー（店長）	・競合他社が新たな手を打って来ない限り、今の状況がしばらく続く。				
スーパー（企画担当）	・食品関係は3～4月と値上げが続くことから、客単価は上昇するが、来客数は厳しくなる。				
スーパー（財務担当）	・所得環境の改善がみられることから、若干ながら前年比プラスを見込んでいる。				
コンビニ（店長）	・現状維持ではないかと感じる。週末は伸びているが平日は減少している。平日と休日の消費のメリハリがはっきりしてくるのではないかと感じる。				
コンビニ（総務）	・消費を喚起するような要因もなく、景気は変わらない。				
乗用車販売店（従業員）	・新型車の売行きが好調の為、決算後もこの状況で推移するとみている。				
乗用車販売店（従業員）	・建築工事関係者の話では、仕事の予定が詰まってきたと聞く。業種間で差がある状況がしばらく続くのではないかと感じる。				

		乗用車販売店（従業員）	・決算月前後の需要が流動的なため、景気が上向いているとは言い難い。新型車発表の予定もなく、販売台数はあまり変わらない。
		乗用車販売店（役員）	・今年に入り、販売面で少し動きが出てきたように思うが、2月は前年並に止まっている。3月に期待したいが、今の状態では4～6月頃まで持ち越すのではないかと。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・昨年の状況を考えると景気は良くなっていいはずなのに、良くなってはいない。
		ゴルフ場（従業員）	・来場者数は横ばいで、売上は客単価が若干減少する傾向にある。
		美容室（経営者）	・なにか目新しいことがない限り、変わらない。
		美容室（経営者）	・まだ消費マインドは低く抑えられている。
	やや悪くなる	衣料品専門店（総務担当）	・消費税増税前の駆け込み需要で大幅に売上を伸ばした昨年と比べ、今年は非常に厳しい。
		乗用車販売店（営業担当）	・年度末の需要が多少あり、4月以降はその反動減は必ず起きる。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況が芳しくない。北陸新幹線の開通が注目され、四国に目を向ける観光客が少なくなることを危惧している。
		旅行代理店（支店長）	・北陸新幹線開業効果による国内旅行需要増に期待しているが、海外旅行需要の落ち込みが著しく、不安である。
		設計事務所（所長）	・不安感を持っている顧客が多い。
	悪くなる	コンビニ（店長）	・景気回復の兆しは見えてこない。地元産業の造船業も賃金が増えている様子もなく、依然消費意欲は弱い。
企業動向関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括）	・政府の景気対策により、個人消費の意欲が増していると感じる。
		繊維工業（経営者）	・外国人観光客が増えている都市部の小売店の売上は堅調である。地方でも高価格商品や良質な日本製商品を扱う小売店などの売上は増加傾向にある。
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・3月は例年、年度末の受注があるので、1～2月よりは上昇する。ただ、採算はとりづらい。
		鉄鋼業（総務部長）	・造船以外にも自動車関連部品等の引き合いが出てきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・最近、バイオマス発電の問い合わせが多い。来年に稼働する計画もあり、準備、調査、調達等で忙しい。
		輸送業（経営者）	・大きな事件が無い限り大丈夫。
		通信業（部長）	・新入学を控えた春商戦が活発になりつつある。
		金融業（副支店長）	・企業の設備投資ニーズが非常に高まっており、景気は回復してくるのではないかと。
		公認会計士	・企業からは設備投資に前向きな意見が多く出てきている。市内の不動産動向では、中心地の値上がりが見られる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・物価が少しずつ上がっていくが、賃金が増えないことから低価格商品に目が向き、販売額は減少する。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・原油安の影響は今のところない。
		建設会社（経理担当）	・次期繰越工事はあっても、職人不足と工期延長が予想され、利益は見込めない。
		建設業（経営者）	・受注を数か月先まで確保できているので、順調な売上を計上できる。
		建設業（経営者）	・公共事業が増えても、人手不足で受注できない。
		輸送業（営業）	・年明け以降、食品や生活雑貨の値上げにより、取扱物量は伸びていない。物価上昇の影響が大きく、消費者の購買意欲が低下している様子は明らかで、景気回復はまだまだ先になりそうである。
		広告代理店（経営者）	・地方は依然として消費が低迷しており、販促費を増やす予定はないと聞く。
	やや悪くなる		
	悪くなる	輸送業（支店長）	・円安基調が続くと、輸入貨物が増えない。
雇用関連 (四国)	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・季節雇用の求人が増え年度末にかけて繁忙期に入る。年度替わりには消費者の購買意欲が高くなり、また季節雇用の求人も増加していく。
		人材派遣会社（営業担当）	・賃金上昇の機運もあり、求人倍率の高まりとともに、首都圏から始まっている派遣料金上昇による派遣スタッフ給与増が期待できる。
	変わらない	求人情報誌（営業）	・3月末までに予算消化した企業は、採用・購買・広報等が一段落し、次年度の立ち上げに際しては、周辺の様子見を行い出費は控えることが予想される。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	・全ての業種で積極的に販促を行う動きがみえない。建設業は好調と聞くが、そのお金は社会に還流していない。実際は人手を東北やオリンピック需要のある首都圏に取られて、仕事はあるが受注できないのが真相ではないか。
	職業安定所 (職員)	・月間有効求人倍率は前月比0.01ポイント低下しているが、前年同月比では0.10ポイント上昇している。
	職業安定所 (職員)	・中途採用者の賃金や求人申込賃金に上昇はみられない。
	職業安定所 (職員)	・管内の新規求人数は増えているが、新規求職者も申込が増えてきている。
	民間職業紹介機関 (所長)	・前年並みで推移すれば良いという企業が多いように思われる。
やや悪くなる	人材派遣会社 (営業担当)	・求人数は増加するが、求職者とのミスマッチが多く、就業に繋がらない。
悪くなる	-	-